

特別講演

コロナ禍における変化とチャレンジ
～障害者雇用の現場から考える～

株式会社ベネッセビジネスメイト
人事総務部 部長

原田 昌尚

コロナ禍における変化とチャレンジ ～障害者雇用の現場から考える～

原田 昌尚（株式会社ベネッセビジネスメイト 人事総務部 部長）

1. 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの感染拡大により、この1年半、世の中は未曾有の事態になっており、経済や人々の生活面全てにおいて甚大な影響が出ています。障がい者雇用の領域におきましても同様で、誰もが経験したことのない変化や不安への対応、また社員をコロナから守るための感染防止徹底など、コロナの収束が見えない中、今も緊張した状態が続いています。

私どもの特例子会社（ベネッセビジネスメイト）におきまして、急激な変化がこの1年半で起こりました。コロナ感染第一波の緊急事態宣言時は、障がいのある社員の感染防止に最大限留意し、自宅待機を実施。業務継続の緊急対応として障がいのない社員で一時しのぎ的になんとか対応。第一波の緊急事態宣言解除後は、時差出勤、時短勤務、交代勤務などを駆使しながら、コロナ感染防止と業務の継続の両方をなんとか皆で協力して実行できている状態です。ただ、昨年度、業務自体は全体的に減少しました。それに伴い、障がい者雇用の増員も抑制せざるを得ない状況になりました。

ペーパーレスの加速によるコピー業務の大幅減少、イベントや会議準備業務もなくなり、また、親会社のオフィス拠点統合による総務サービス窓口業務の縮小など、その他多くの業務がコロナの影響で一気に縮小し業績を悪化させています。

ただ、一方でコロナ禍ゆえの新たな業務も出てきています。親会社社員の在宅勤務者増に伴う事務系業務の依頼、文書のデジタル化などの業務拡大、また、オフィスの定期消毒業務など、コロナ前にはなかった業務依頼が出てきています。おそらく他の特例子会社様におかれても、同様の急激な変化があり、その対応と障がい者雇用の維持・確保で非常に大変な難局に立ち向かわれておられることと思います。

私どもは毎年、社員の職場満足度調査を行っており、昨年の結果は、まさにコロナの影響を如実に反映しています。特に障がいのない社員のスコアがダウン。働きがい、モチベーションの低下、会社としての一体感の低下、一部の社員への負荷拡大など、障がいのない社員への影響が調査の結果としても明るみになりました。これを受けて、With コロナの働き方、環境、支援体制を整備し、安心して長く働き続けられる会社となるべく取り組みを開始しています。例えば、社内全体の働き

がいを高めるために、まずは課長の働きがいを高めることがキーと考えました。その一つとして、課長の負荷を軽減するために、課長を支える NO.2 社員の選出と、その人の課題にあった育成計画立案→実行に取り組んでいます。また、社内のコミュニケーション活性化のために、昨年度は行っていなかった全社発信の機会を設け、会社全体の動きや、重要事項を共有する仕組みを作っています。会社がどこに向かっているのか、一体感の醸成と社員のベクトルを揃えることが目的です。その他、障がいのある社員を指導する社員に対して、成長実感を得るために、成長イメージを可視化し、各自の成長到達目標にむけた育成に取り組んでいます。

昨年度は弊社東京拠点の障がいのある社員の退職者はゼロ。会社設立以来、東京において障がいのある社員の退職者がゼロというのは初めてであり、この結果や要因仮説につきましても講演の中で触れさせていただきます。

2. Withコロナにおける特例子会社としてのチャレンジ

ダーウィンの進化論ではありませんが、「変化に対応できたものが生きのびる」とはその通りだと思います。この苦境ともいえる状況下で、重要なことは、変化をチャンスと捉えてアグレッシブにチャレンジしていくことだと思っております。

【今後の取り組み方針】

- ベネッセグループの新しい働き方、仕事にしっかり対応し、業績回復への支援を行う。
- ベネッセビジネスメイトの経営の正常化と障がい者雇用拡大路線への復帰を実現する。
- With コロナにおける働き方、環境、支援体制を整備し、安心して長く働き続けられる会社となる。

上記のために下記のテーマに果敢に取り組んでいきます。

- 業務変化への対応、新規業務受託の拡大（更なる障がい者雇用拡大へ）。
- 障がいのある社員の戦力化の仕組み作り。
- 安定的に働ける環境作り。

組織を改編し、お客様の依頼に柔軟に対応できる受託体制を整備。また新規事業として5月に多摩社屋に新たにカフェをオープン。その他、「業務を楽にしよう、楽しくしよう」という取り組みによる工程変革なども行っています。これらは「働きやすい環境作り」とセットで、社内だけでなく関係各所と連携しながら、どうすれば安定的に長く働き続けられるかを今後も追求していきます。

コロナという非常に厳しい状況下で、障がいのある社員が自立し、戦力となって、イキイキと長く働き続けられる会社を目指していきたいと考えています。他の特例子会社、支援機関、関係各所の皆様との連携と支援をいただきながら、一緒に、より一層、日本の障がい者雇用の未来を育んでいければ幸いです。